

宇治交配 **華の極み** (MGX-503)

⒫(品種名:MGX-503)
海外持出禁止(農林水産大臣告示有)

**強度根こぶ病抵抗性で濃緑、耐寒性に優れた
年内～冬穫り中晩生種！**

特 性

- ① 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）と千葉県、丸種株式会社の三者共同研究により育成された「強度根こぶ病抵抗性(CR)品種」です。
- ② 強度 CR 品種ですので従来品種よりも強い根こぶ病抵抗性を持ち、汚染圃場でも安心して栽培できます。
- ③ 生育旺盛で耐寒性に優れた年内～冬穫りの中晩生品種です。
- ④ 花蕾は特に濃緑でボリューム感があり、品質は最高です。
- ⑤ 一般平坦地では9月上旬から播種可能で、播種後約100日で主枝・第一側枝が収穫初めとなり、しばらくした後に強健な分枝が数多く出て収穫最盛期となります。



栽培のポイント!

① **播種準備**

畑地・水田を問わず完熟堆肥を投入し、地力を高めることが大切です。品質のよい花蕾を長期間収穫するための基本となります。『色あせ』を防ぐための**施肥の基本は肥効を持続させることです**。元肥としては窒素で10～15kg/10a程度がよく、緩効性肥料を主体として、使用することをお勧めします。

② **播種・間引き**

畝幅は2条植えの場合130～140cm、1条植えで80cmとします。株間は30～35cm程度とり、一カ所に5～6粒を点播します。間引きは、本葉2～3枚期に一カ所3本程度にし、本葉5枚時に一本仕立てとします。移植栽培を行う場合は、直播き栽培よりも7～10日程度早く播きます。若苗定植を

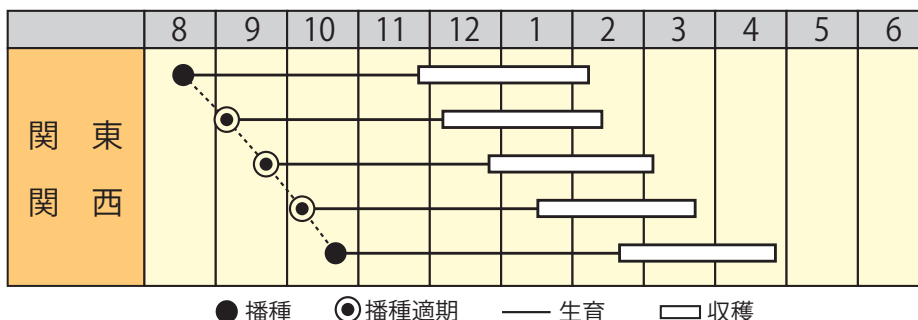
心がけ定植後の根の活着を良くすることが大切です。

③ **収穫までの管理**

発芽直後は特にアブラムシ・キスジノミハムシ等の食害には十分注意し、もし発生の兆候が見られたら直ちに薬剤散布による、防除をしてください。前述のように、はなな栽培においては「肥効の持続」がポイントです。**本種は葉色が濃いため、追肥のタイミングが遅くなりがちですが、出蕾時期に色あせしないように適宜追肥をおこないます。**

④ **収穫**

頂花蕾が上がってきたら早めに摘み、側枝の発生を促すことをおすすめします。



標準栽培表参考に
貴地の気候に合わせて
栽培してください。